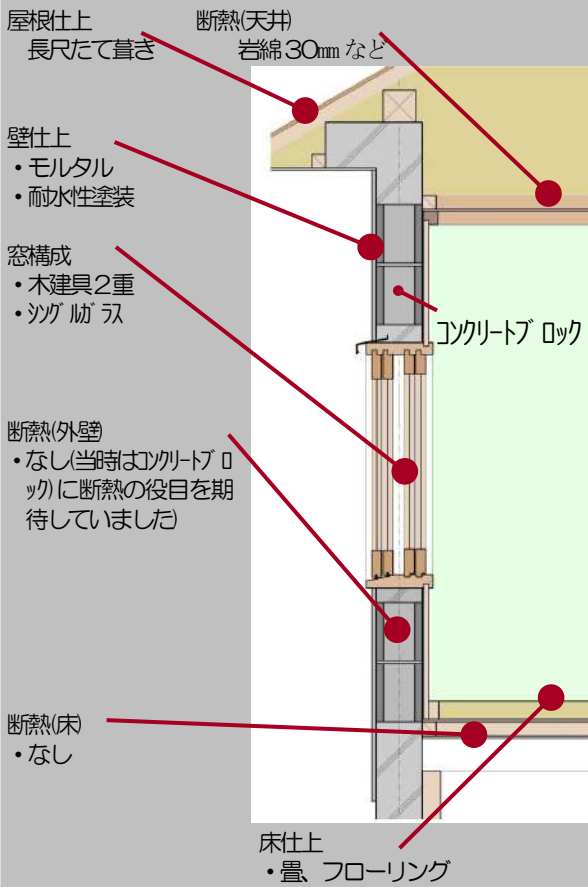


1960年頃

防寒住宅(ブロック三角屋根住宅)



ダイニングキッチン



ポット式石油ストーブ



長尺たて葺屋根



換気口

防寒住宅(ブロック三角屋根住宅)

戦後になり、北海道の地域素材である火山灰ブロックを材料とした住宅が普及しました。このブロック三角屋根のシンプルなデザインの住宅は北海道独自の住宅地景観を創り出しました。窓は、木製の二重窓で、石炭ストーブからやがて石油ストーブへ変わっていきました。



ブロック三角屋根住宅の街並み

新築住宅平均床面積

1967(S42)戸建北海道

75.3㎡

平均世帯人数(北海道)

1965(S40)  
4.6人/世帯

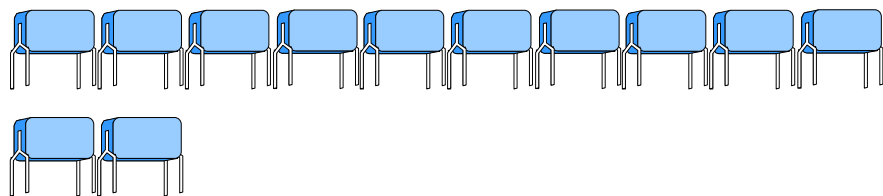


年間灯油消費量(120㎡の住宅全室を暖めた場合札幌市)

およそ5,753(L)、ホームタンク500(L)約12個分

※ここでは、建物の断熱性能を比べるため全室を暖めた場合のエネルギー量を灯油に換算しています。

灯油消費量

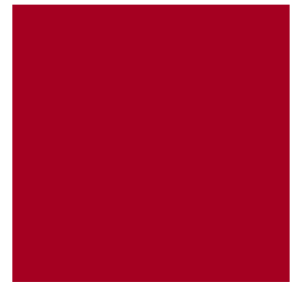


熱損失係数 およそ5.4kcal/m<sup>2</sup>h℃

120㎡の住宅の隙間を集めると

およそ2,400cm<sup>2</sup>  
(49×49cm)

隙間面積



隙間相当面積 およそ20 cm<sup>2</sup>/㎡

1953 北海道防寒住宅建設等促進法

蛍光灯の普及始まる

1954 洞爺丸台風

1955 洗濯機急速に普及

1959 建築基準法改正

(簡易耐火構造設定)

1960 1/4カラ・J7-登場

1962 日本住宅公団(東京)の申込競争率52.5倍

1964 東京利光°ッ 東海

道新幹線開業